

IEEE Sendai Section LMAG/WIE/YP 共同主催講演会

- 日時：2022年11月19日（土） 13:00～16:30
- 開催方式：Zoom Webinar によるオンライン開催
- 主催：IEEE Sendai LMAG (Life Members Affinity Group)
IEEE Sendai WIE (Women in Engineering Affinity Group)
IEEE Sendai YP (Young Professionals Affinity Group)

■ プログラム：

➤ LMAG/WIE/YP 共同主催講演会について [15分]

澤谷 邦男 (Sendai LMAG Chair) , 菊池 仁 (Sendai WIE Chair) , 山口 恭正 (Sendai YP Chair)

➤ 講演1 「イノベーションへの向き合い方」 [60分]

松田 将寿 氏 (Transformation Consulting)

<講演要旨>

現在の課題の一つにイノベーションがあるが、諸外国に比べて日本のイノベーションは質・量ともに見劣りがする。その要因には様々なものが想定されるが、コンサルティング活動を通じて見受けた個人・法人内におけるイノベーションに対する壁を紹介する。そして法人からイノベーションを生み出すために個人と法人でそれぞれ変えた方が良いものがある。それらを事例も踏まえて紹介する。

➤ 講演2 「今後の月探査への情報技術の貢献」 [60分]

大竹 真紀子 氏 (会津大学コンピュータ理工学部)

<講演要旨>

国内外で検討されている月探査計画の概要を紹介するとともに、実施中の既存の月リモートセンシングデータを使ったAIなど手法を用いた地質解析による成果や、それら成果が今後の月探査にどのように活用できるのかを紹介する。また、今後の月・火星表面探査の実現に向けた情報系人材の育成を目的に、今年度から始めた教育プログラム事業についても紹介する。それらを通じて、情報技術の宇宙、特に月惑星探査分野への今後の貢献を議論したい。

➤ 講演3 「量子情報通信のための量子光源」 [60分]

枝松 圭一 氏 (東北大学電気通信研究所)

<講演要旨>

2022年のノーベル物理学賞は、光子を用いた量子もつれの発見および量子情報科学の開拓に貢献したA. Aspect, J.F. Clauser, A. Zeilingerの3氏に贈られることになった。本講演では、光を用いた量子情報通信技術の要となる量子光源の基礎と応用について概説する。特に、単一光子および量子もつれ光子の基本的性質と量子情報通信技術への応用展開について、できるだけ易しく解説したい。

- 参加費：無料（参加定員：300名）
- 申込期限（延長しました）：~~2022年11月16日（水）~~ 2022年11月18日（金）
※但し、定員に達した場合受付を終了します。
- 問合せ先：IEEE Sendai Section 事務局
sendaisec_contact[at]ieee-jp.org
※メール送信の際には、[at]を@に置き換えてください。